

## 交通加害事故防止職員研修会資料（車間距離）

4月にもお知らせいたしましたが、依然として後方からの接触事故が減りません。その中の多くは十分な車間距離をとっていたら防げたのでは…と思われる事故です。

では、どれぐらいの車間距離が必要なのでしょう？通常走行の場合は速度から15を引いた数字が目安と言われています。つまり40kmで走行の時は25m、60kmで走行の時は45mが必要と言うことです。

しかし、後方からの接触事故は高速運転の時はほとんど発生していません。発生は渋滞中などの低速走行時（ちょっと助手席を見て、前を見たら前車が右折のために減速していたなど）や発進直後（発進直後に前車が急ブレーキを踏んだ、横の車と同時に発進したら前車はまだ停車していたなど）に集中をしています。つまり、ノロノロ運転の時も停車中も十分な車間距離をとることが事故を防ぐということです。

### 停車中のあなたの車間距離はどっち？



上の写真は東部教育事務所通信「Together」第9号に掲載したものです。左の写真は前車の後輪が接地面まではっきり見えています。停車中もこの車間距離（約4m）以上を保ちましょう。

事故を防ぐためには自分自身の運転スタイルを点検し、必要に応じて運転スタイルを改めていくことが必要です。今日の運転から今まで以上に車間距離を意識して運転してください。

#### 雨天時の運転について

雨天時は路面が滑りやすくなるだけでなく、視界も悪くなり安全確認が不十分となり歩行者や自転車の発見が遅れることがあります。特に以下の点に気をつけてください。

- ① 停止距離が晴天時より長くなります。スピードを落とし、車間距離は通常より眺めに取りましょう。また、タイヤの点検もお願いします。
- ② 視界が悪くなります。サイドミラーや後方が見えにくくなっています。左折や後進は慎重に行ってください。

